

**中勢沿岸流域下水道（松阪処理区）松阪浄化センター
太陽光発電設備導入事業（PPA）（仮称）に先立つ情報提供依頼（RFI） 質問に対する回答**

No.	対象ドキュメント	質問内容	回答
1	別添資料② 「仕様書（案）」	「5 事業実施について （1）基本条件 ル.」 発電設備設置箇所における降雨の影響として、100年確率降雨による計算上の設計水位TP+1.57m等が示されています。 一方、当該地域については、河川洪水および津波による浸水リスクも想定されるものと認識しています。 本事業における発電設備の設計にあたり、県として想定されている河川洪水および津波による松阪浄化センター敷地内の浸水深または設計上考慮すべき水位等がございましたら、ご教示ください。	浄化センター敷地内における河川洪水、高潮および津波による浸水想定については、以下の資料をご参照ください。 ・河川洪水 櫛田川水系洪水浸水想定区域図（三重河川国道事務所） （https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/disaster/river-disaster/inundation/kushidagawa-top.html） 金剛川水系洪水浸水想定区域図（三重県） （https://www.pref.mie.lg.jp/KASEN/HP/000227728.htm） ・高潮 伊勢湾沿岸〔三重県区間〕高潮浸水想定区域図（三重県） （https://www.pref.mie.lg.jp/D1KENDO/000240367.htm） ・津波 津波浸水想定図（三重県） （https://www.pref.mie.lg.jp/D1BOUSAI/845440078610001.htm）
2	別添資料② 「仕様書（案）」	「5 事業実施について （2）事前調査・手続 ム. 設備容量検討」 PCS容量を680kW以上とする条件が設定されていますが、当該容量を設定された考え方をご教示ください。	過去数年間の浄化センターの各月のデマンド最低値が680kWであることを踏まえ、発電電力を最大限に自家消費するため、発電出力をデマンド最低値を下回らないよう設定しております。